外 部 評 価 報 告 書

平成２０年９月

函館工業高等専門学校

目　　次

１．答申書（外部評価意見書）・・・・・・・・・・・・・・１

２．平成 19 年度外部評価委員会

① 会議日程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

② 会議次第 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

③ 出席者名簿 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

３．参考

・外部評価委員会規程　・・・・・・・・・・・・・・・６

・本校関係者名簿　・・・・・・・・・・・・・・・・・７

答申書（外部評価意見書）

函館工業高等専門学校長　殿

文責　外部評価委員会委員長　三上　隆
（北海道大学大学院工学研究科長)

外部評価は、平成 20 年 3 月 5 日、函館工業高等専門学校自己点検・評価報告書に基づき、学生支援に係る 5 項目(学習支援、学生相談、進路支援、キャリア教育支援及び国際化支援)について実施した。以下に、各項目の優れた点と改善を要する点を記し、最後に「まとめ」として学生支援に対する所見を述べたい。

「学習支援」

1)図書館､情報教育演習室およびコミュ二ケーションスペースという自主的学習環境は良く整備されている。特に、共用スペースとしてのコミュ二ケーションスペースは、学生同士、教員と学生のコミュ二ケーションを念頭に置き適切に配置されており評価できる。なお、今後の改善点でも述べられているように、自学自習のための設備の整備と活用が、学生の能動的学習態度の育成に繋がるものになることを期待する。

2)オフィスアワーは、時間割に明記され、全教員が参加する体制をとり、また学生の利用件数が増加するなど評価できる。ただし、対応記録提出は、教員間でばらつきがあり、教員間で共有すべき情報が埋もれないような工夫が必要である。

「学生相談」

1)学生相談は、学生が相談に来やすい環境を作るために、プロの外部カウンセラーが中核となる対応体制を取っている。学生相談室は、教員の校務分掌の中でも独立した校長直轄の組織であり、また外部カウンセラーの増員を図るなど評価できる。

2)学生の実態調査を継続的に行い、その分析を学生相談に生かしていること、学生相談関係者は全国学生相談研修会・全国メンタルヘルス研究協議会等への参加により自己研鑽に務めていること、さらに全教員を対象にした学生相談室活動報告とカウンセリング研究協議会を開催して、教職員の意識・理解の向上に努めている点は、高く評価できる。

3)今後の改善点は、自己評価にも記載されているように、今日の若者が抱える心の弱さに起因する相談が増加傾向にあることから、その早急な対応が望まれる。

対策としては、プロのカウンセラーの増員も一つと思われるが、予算的な面での困難も予想されるため、可能であれば函館地区にある高等教育機関との連携等も視野に入れた検討を希望する。

「進路支援」

1)就職希望者の就職率は、ほぼ 100%であり評価できる。本科の就職指導に関しては、進路指導委員会を設置し、４、5 年生を対象とした就職の手引きの発行、就職ガイダンス・講演会の開催など手厚い支援を行い、また低学年次からのキャリア教育センターによる組織的・系統的な教育は、職業意識の醸成を行う上にも重要であり、支援体制と新たな取組みは高く評価できる。
2)専攻科、大学編入、大学院の進学希望者の過去 4 年間の進学率は、いずれも 100%と高い値を維持しており、その実績は評価できる。本科および専攻科の学生に対して、それぞれ進路指導委員会および専攻科委員会が「進学に関する手引き」を作成して、事前指導、ガイダンスを行っており、この点も評価できる。
3)自己評価報告書に記載されているように、進路支援は、担当教員の負担が大きいようである。可能であれば、進路指導の専任スタッフの配置が望まれる。

「キャリア教育支援」

1)進路指導委員会による学校全体のキャリア教育、各学科・各専攻による本科・専攻科を対象としたキャリア教育およびクラス担任による学生への直接的なキャリア教育の実施と、学校単位、専攻科・学科単位において組織的支援体制が確立され、また各単位の支援内容も十分なものである。
2)主として低学年生の進路意識向上を目指し、組織的・系統的なキャリア教育を推進するために、平成１８年度にキャリア教育センターを学内措置で設置したことは高く評価される。また、センターの求人・進学情報検索システムの独自開発も評価できる。
3)キャリア教育センターは、設置してから日が浅いこともあり、進路関係のデータベースの構築と公開など、その活動範囲は限定されたもののようである。将来的には、キャリア形成に関する幅広い支援が出来るセンターへと成長することを期待する。

「国際化支援」

1)英語による国際的なコミュ二ケーション能力の養成を重視し、英検・TOEIC 等の受験支援、語学資格に応じた単位認定、学内 e-Learning システムによる自主学習支援など様々な取組みを行っており評価できる。また、特徴的な支援としては中国語の資格取得の学生支援を行っている。

2)学生の英語能力を養成する新しい取り組みとしては、校長裁量経費による海外におけるプレゼンテーション交流を実施し、現地教員による評価結果を指導方法の改善に生かしている。
3)海外高等教育機関との交流については、対応組織として国際活動推進部会を設置し、韓国・釜慶大学校工科大学と学術交流協定を締結したことは高く評価でき、今後の具体的な交流の促進は国際的な視野と経験を持つ技術者養成に有効なものと期待される。
4)海外プレゼンテーション交流および海外高等教育機関との交流は、日が浅いこともあり、自己評価報告書に記載されているように、前者についてはシステムとしての整備および後者については学術交流の本格的なスタートが望まれる。

「まとめ」
1)自己点検・評価報告書は、現状の評価と分析、改善課題から纏められており、学生支援に対して、労力を惜しまない教職員の姿勢が読み取れる。
2)15 歳という柔軟性と可能性を持つ入学間もない学生から、高学年次まで、バランスよい学生支援を実施しており、その取組みは高く評価される。
3)学生は、主体的活動を保障されると、適確な問題意識を持って、積極的・意欲的に活動に取り組むものである。支援の中には、その意識を持たせるための取組みも数多くあり評価できる。

平成１９年度

函館工業高等専門学校外部評価委員会

期日　平成２０年３月５日（水）

場所　函館工業高等専門学校 大会議室

会　議　日　程

平成２０年 3月 5日（火）

１３：３０	開　会
１３：３０～１６：００	委員会
１６：００	閉　会
１６：００～１７：３０	施設視察

会　議　次　第

1. 開　会
2. 校　長　挨　拶
3. 委　員　長　選　出
4. 本校の現況及び「自己点検・評価報告書」の概要説明
5. 質　疑　応　答
6. 講　評
7. 閉　会

出 席 者 名 簿

外部評価委員会委員（50 音順）

北海道大学大学院水産科学研究院　教授	板　橋　　豊
株式会社メデック　代表取締役社長	漆　崇　照　政
北海道教育委員会教育長	多賀谷　　智（都合により欠席）
株式会社コムテック２０００　代表取締役社長	塚　本　照　男（都合により欠席）
公立はこだて未来大学長	中　島　秀　之
函館商工会議所　副会頭	沼　崎　弥太郎
（株式会社エスイーシー 代表取締役社長）	
北海道大学大学院水産科学研究院長	原　　彰　彦
北海道大学大学院工学研究科長	三　上　　隆
北海道立工業技術センター長	米　田　義　昭

本　校　出　席　者

校　　長	長谷川　　淳
副校長・教務主事（機械工学科　教授）	切　明　隆　司
学生主事（一般科目（人文系）　教授）	浦　田　　清
寮務主事（環境都市工学科　教授）	澤　村　秀　治
専攻科長（電気電子工学科　教授）	石　井　良　博
機械工学科主任（教授）	中　川　幸　二
物質工学科主任（教授）	日　野　　誠
一般科目（人文系）主任（教授）	四　宮　宏　貴
一般科目（理数系）主任（教授）	福　島　　純
自己点検・評価ＷＧ委員（情報工学科　教授）	藤　原　孝　洋
自己点検・評価ＷＧ委員（電気電子工学科　教授）	森　田　　孝
自己点検・評価ＷＧ委員（機械工学科　准教授）	近　藤　　司
自己点検・評価ＷＧ委員（電気電子工学科　准教授）	柳　谷　俊　一
自己点検・評価ＷＧ委員（情報工学科　准教授）	河　合　博　之
自己点検・評価ＷＧ委員（物質工学科　准教授）	清　野　晃　之
自己点検・評価ＷＧ委員（環境都市工学科　准教授）	平　沢　秀　之
キャリア教育センター長（一般科目（人文系）教授）	中　村　和　之
学生相談室長（一般科目（理数系）准教授）	新　田　一　夫
事務部長	板　橋　　博
総務課長	栗　原　　智
学生課長	田　邊　彰　宏
総務課課長補佐	瀬　良　柳　次
学生支援室長	渡　邉　眞　澄

函高専達　第　１　号
平成１７年5月１６日

函館工業高等専門学校外部評価委員会規程

(設置)
第 1 条　函館工業高等専門学校(以下「本校」という。)に，本校の運営及び教育・研究活動等に関し，学外の有識者による評価及び提言を求めるため，函館工業高等専門学校外部評価委員会(以下「外部評価委員会」という。)を置く。
(目的)
第 2 条　外部評価委員会は，本校の運営及び教育・研究活動等の状況について評価及び提言を行い，本校の教育・研究並びに学校運営に関して，より一層の発展に資することを目的とする。
(組織)
第 3 条　外部評価委員会の委員は，人格識見が高く，広く社会の実情に通じ，かつ，本校の充実発展に関心と理解のある学外者のうちから，校長が委嘱する。
(委員長)
第 4 条　外部評価委員会に委員長を置き，委員の互選により決定する。
2　委員長は会議の議長となるとともに，会務を掌理する。
3　委員長に事故があるときは，委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。
(会議)
第 5 条　外部評価委員会は，毎年度必要に応じて委員長が開催する。
(任期)
第 6 条　委員の任期は 2 年とし，再任を妨げない。
2　前項の規定にかかわらず，校長が必要と認めたときは，委員の任期を 2 年未満とすることができる。
(委員以外の者の出席)
第 7 条　委員長は，必要があると認めるときは，委員以外の者を会議に出席させることができる。
(庶務)
第 8 条　外部評価委員会の庶務は，庶務課において処理する。
(雑則)
第 9 条　この要項に定めるもののほか，外部評価委員会の運営に関し必要な事項は，外部評価委員会が別に定める。

附　則
この要項は，平成１７年５月１６日から施行する。

運営委員会　自己点検・評価部会　委員

委員長	長谷川　　淳	(校長)
委　員	切　明　隆　司	(副校長 教務主事・機械工学科　教授)
委　員	小　原　寿　幸	(副校長・物質工学科　教授)
委　員	浦　田　　清	(学生主事・一般科目人文系　教授)
委　員	澤　村　秀　治	(寮務主事・環境都市工学科　教授)
委　員	石　井　良　博	(専攻科長・電気電子工学科　教授)
委　員	中　川　幸　二	(機械工学科　教授)
委　員	木　村　　彰	(電気電子工学科　教授)
委　員	國　分　　進	(情報工学科　教授)
委　員	日　野　　誠	(物質工学科　教授)
委　員	韮　澤　憲　吉	(環境都市工学科　教授)
委　員	四　宮　宏　貴	(一般科目人文系　教授)
委　員	福　島　　純	(一般科目理数系　教授)
委　員	板　橋　　博	(事務部長)

運営委員会　自己点検・評価部会　自己点検・評価ワーキンググループ

委員長	藤　原　孝　洋	(情報工学科　教授)
委　員	濵　　克　己	(機械工学科　教授)
委　員	森　田　　孝	(電気電子工学科　教授)
委　員	近　藤　　司	(機械工学科　准教授)
委　員	柳　谷　俊　一	(電気電子工学科　准教授)
委　員	河　合　博　之	(情報工学科　准教授)
委　員	清　野　晃　之	(物質工学科　准教授)
委　員	平　沢　秀　之	(環境都市工学科　准教授)

自己点検評価調査資料提供者

学習支援	高　田　明　雄	(電気電子工学科　教授)
〃	先　名　健　一	(情報工学科　教授)
学生相談	新　田　一　夫	(一般科目理数系　准教授)
進路指導	韮　澤　憲　吉	(環境都市工学科　教授)
キャリア教育	中　村　和　之	(一般科目人文系　教授)
国際化支援	石　井　良　博	(電気電子工学科　教授)
〃	奥　崎　真理子	(一般科目理数系　教授)
〃	高　橋　眞規子	(一般科目理数系　准教授)